THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻 第四十一號

大正六年十月十二日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

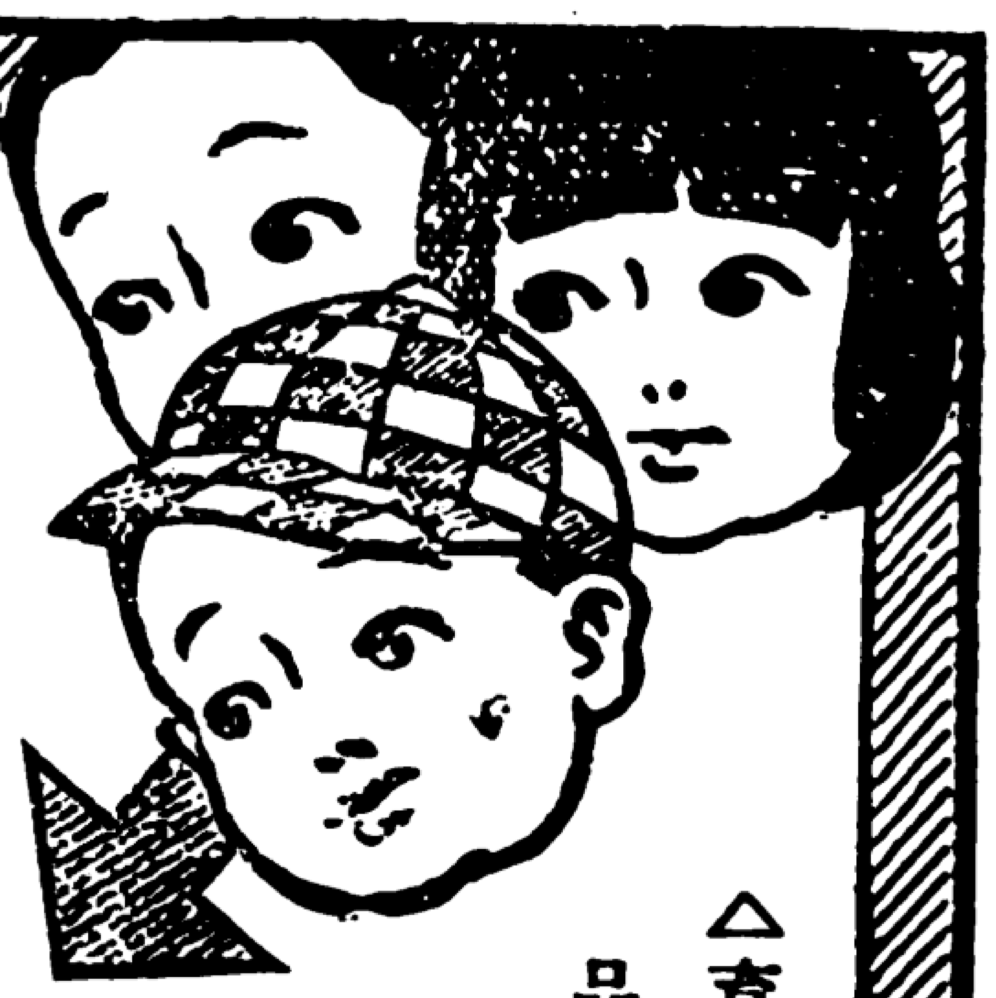
目次

□時事週評……小橋三四子
□永久の平和を贏ち得る途……吉野博士
□私の一日「古谷愛子さん」……記者
□婦人界開拓者の家庭訪問「下田次郎氏と其夫人」……小枝
□馬好きの夫婦……K子
□化學工業博覽會―東京だより……記者
□いろ／＼の社會「人形師」……佳子
□細君内助の惡……澁田斬雲
□米に代る簡易な食養……若林欽
□活動寫眞の規則と我家の子供……ガンドレット恒子
□洋式禮―輕い訪問……同胸
□初袷の流行……記者
□オハナシ「自然兒」……琴子
□小話「黄金の露」……波留子
□小說「犬と彼等」……高田てい子
□囀……
□時事……編輯室より……

定價一部四錢五厘 郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



△育兒の第一義は營養品の選定にあり

母乳代用品
完全哺育料

キノミール

乳兒の骨格、筋肉、血液、神經等各部の健全なる發育に必要なる諸成分を完全に備ふるものは獨り我が「キノミール」あるのみ
試みに一罐を使用して其効果を驗せらるべし
（說明書進呈）

本舖 和光堂

本店　東京市神田錦町　（電話 本局四一六一 神田一六四八）
支店　大阪東區横堀三丁目　（電話本局三一六八）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事週評

積極的救濟策

今回の暴風雨の慘害傳はるや畏くも　天皇皇后兩陛下の多額の御救恤を初めとして、社會一般の同情金は、幾十萬を以て數ふるに至りました。各婦人會も餘り豊かならぬ財政を投じて、或は現金を以て、或は慰問袋を以て、それ〳〵救濟の實を擧げて居る事は誠に喜ばしい事であります。乏しい上に家を失ひ、鍋釜を失つた十萬にも上る人々に、安眠と食糧とを與へるには、如何程あつても充分と申すことはありますまい。今後も益々救濟資金の加はる事を希望致します。

一朝不慮の災害に出逢つた節遽然として集まる人々の同情は、到底利己主義跋扈し、誤つた個人主義の弊に捉はれて居る社會と思はれぬ美はしさがあります。與へる者の眞の同情を以て、少しの誇りもなく、少しの僞りもなきはもとよりこの爲めに如何程の勞をも厭はぬのであります。然しこれが一朝目前の事を離れて、稍々根本的の救濟策を稱へれば、どれ程世人の注意を惹きませうか。

中央氣象臺の設備の完全を欲する旨は、先年より屢々當局から其の聲を聞きました。今回の慘害も今少し早く確かに知る事が出來たら、人々は警戒して、其の災害を減ずる事が出來たでありませうに、この積極的に國民の安全を圖る方面には、一向留意されずに過されて居りました。今回、氣象臺長が「救濟金の一部を割いて、氣象臺の完備を圖る爲めに用ひたらどうか」と某新聞に語つて居られるのを私は見逃がす事は出來ませんでした。其の他貸家建ての急拵らへの家が、この東都にどれ程多いかは、倒潰家屋の多いのを見ても解ります。貸す人、作る人に、も少し徳義心があつて、萬一の場合を慮り、入念に家を建てたならば、確かに今回の如き天災を輕からしむる事が出來るでありませう。現に本社の二階建は十數年前の建築であり周圍の家より一段高くにあるにも拘らず、家主の住居として建てられた家とて、極めて頑丈に作られ、過般の嵐にも、隙間一つあかずに濟んで居ります。そして昨今建てられた近隣の新家屋は、塀を倒され、雨戸を剝かれ、廂をめくられて居るのを見て、目先仕事に甘んじて行く輕佻な都會人への戒めを頻りに感じました。今後救濟資金に巨萬を投じた人々は、更らに其の根本に溯つて、凡ての災害から豫め逃れ得る積極的救濟策に力を注がれたいとぞんじます。

食糧問題

聯合軍に加はりながら、戰亂の渦中から遠く離れて居る我が國家は、食糧問題等に就て、痛切な刺戟を受けずに濟む幸福な境遇に居りました。然るに一朝暴風雨の慘害に遇ひ、物價は著しく騰貴して、生活の苦痛を感

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

する向きの多くなつた事は、一方からは生活に就ての强い警告を與へられたものとして喜ぶのであります。三度三度の米飯が中流下流の生活としてはいかに贅澤であるか、時は金になりつゝある世の中に、昔の儘の食膳はいかに時間の浪費であるかは、普く考へねばならぬ問題であるとぞんじます。戰前の獨逸人が、大學教授も、高等官吏も、晝飯としては乾いた麵麭の一塊を、噛るに過ぎぬ程の節約と、粗食に對する訓練とを經て居つたと申す事は、多くの人の知る處でありますが、世界を敵として數年、食糧に事缺かぬ點は、寧ろ不思議であると思はせる程多年用意の行き渉つて居る事を語つて居ります。我が食糧に就て、研讃を積まれて居る海軍中佐若林欽氏の「米に代る簡易な食養」は、食膳改良に就いての參考の一つとならうとぞんじます。其の體質、境遇、年齢に應じて、一家の庖厨を預る主婦の工夫の更らに加はり、此の際勇を鼓して、改革の端緒に就かれんことを。

軍國と子供

世界中軍國にある今日、親や教育者は、第二國民を教養するに當り、軍國主義によるべきか、平和主義によるべきかは必ず逢着する問題でありませう。伊太利のモンテスリー女史の如く、出陣を拒んだ勇士の事を聞いて、「我が國にも眞の勇士が出來た」と涙を流して喜ばれた教育家もあります。米國の母親は、屡々戰地に行く我が子の戰線を起つに就て抗議を申込む等の事は稀らしからぬと聞きます。理想から云へば、人命を奪ひ合ふ戰爭を全く避け、人道主義に其の子を育てたいものであります。さりながら國家を結んで居る以上は、其處になほ暫らくは國際間の競爭が根絶せぬものとすれば、既に中學時代から兵式體操をも課さねばならず、軍艦、軍器、飛行機の資にも小さき財布の中より捧ぐることを奬勵しなければなりません。軍國主義によらんか、歐洲大戰亂の慘害を今後幾度か繰返す事を敎へてしなければなりません、平和主義によらんか、虎の如き軍國主義の國の萬一の襲來を如何しませう。軍國主義か平和主義か、私は今後の教養は平和主義を根底として、劔を抜く事は、愛もなほこれを爲す事の出來ぬ不義にのみ向つて行くといふ事を心掛けしめたいと思ひます。子供等の遊戯の間にも、徒らに負け惜しみ根性を養成する事なく、興奮し易く、刃向ひ易い性癖を、二葉の中に摘み採つて終ひたいものであります。

東都の自動車數

二

此の春知人が自動車を求めた時は其號數は八百幾つであつたものが、昨今は千百幾つといふ號數を見かけると云つて、其の數の增加を喜んで居りました。然るに近く米國から歸朝した人の話によれば、彼の國には日に千臺の自動車を製造する會社は、決して一二に止らぬ。其の製作の狀態を見ると、長方形に組まれた枠が、製造場の軌道の一端に置かるゝと、徐々と其の軌道を巡る間に職工が持場持場にありて、輪を着け、把手を着け、車體を着けして、廿五分間の後には立派な自動車となつて試運轉をするに至るといふのであります。我が國には僅かに彼の一會社の一日の製造高なる千臺餘りがあるのみで、製造所等は更らに見られないのであります。この一事もなほ彼我の文化の程度を語つて餘りあるとぞんじます。

—三四子—

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

永久の平和を贏ち得る途

今日國民の考ふべき問題

法學博士　吉野作造

口戰爭か平和か

歐洲大戰後、世界は果して何れの思想に統一せらるゝかは、何人も着眼する點であり、從つて世の識者がこれに向つて、種々な説をなして居る。勿論其の人々の異つた見地より説くのであるから、統一された大綱を得んとする事は困難である。私は政治研究を專門とする者であるが、この方面に著しく現はれて居る問題は、「戰後世界の平和を永久に保障すべき方法如何」といふ事である。一部の人々の間には、依然として軍國主義の優勢と、之れに併ふ思想とを鼓吹せんとする者がある。然し少くとも歐米の政治思想家は軍國主義よりもなほ強く如何にすれば平和の永久に持續され得べきかに就て、考究され、中には各國の政治家、學者に向つて廣く其の意見を徵して居るなどもある。かの米國に於ては、先頃ブライアンとウヰルソンの名前によつて、各國に其の問題を提出し、識者の意見を問ふた。而して戰爭以前に獨逸の代表する軍國主義は次第に排斥せられ、ユートピヤか閑人の空想視せられた平和が、熱心に唱道さるゝに至つた。我々は直ちに平和を贏ち得ない迄も、少くとも此の爲めに、充分努力しなければならぬといふのが、世の識者の一致する意見である。

口平和持續の形式如何

然らばどんな形式を以て、永久の平和が保障さるべきか、これは戰後もゆつくりと考究さるべき問題であらうが、また今日迄幾多の議論があつて、容易に解決の出來ぬ處である。或は仲裁裁制を國際條約を以て結ばんとし、或は各國の條約によつて、軍備を制限しやうと云ふ。尤もこの説は既に十年前各國の間に起り、當時露西亞の皇帝によつて萬國平和會議が提出され、和蘭の首都に於て開會されたのであつた。これ等斷片的個々の方法では、世界の平和を根本的に達することは出來ない。かの勞働者には「祖國なし」と稱へて、國家的競爭を絶滅せんとする社會主義者は、自らの説こそ、世界の平和を永久に確保するものであると、熱心に稱へて居る。然しその思想の根本に既に誤りがあるので、その方法にも自然に誤りが生じて來る。ロシヤの社會黨が、其の主義を提げて、永久の平和の爲と稱し、宛も妥協的の態度なしに、其の貫徹に努力して居る事は疑もない處である。これには多少の眞理もある。多數の人が集つて、國政を左右する時、戰爭は困難となる。米國大統領の宣戰の布告に「專制主義を打破して民主主義を樹立すべし」といふ其の思想は、社會主義に暗示されて居る。然し多くの國が、民主主義に移り、これによつて充分に世界の平和を確保し得るとは未だ思はれて居ない。

口世界的聯邦組織

今日多くの識者が平和確保に就て着眼して居る問題は、國と國との間に有効なる聯邦組織の設けられんことである。この聯邦組織は其の類を現に英國の成立に見るのである。互に利害關

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

係を異にする多數の小國が集つて、一つの國家を成して居る。英國が己のが聯邦を如何に纒めるかは、世界的聯邦組織の上に、よい暗示を與へるものである。而して戰前より英國は愛蘭土自治問題を始め、四分五裂の狀態に陷らんとし、其の統一の方法を改革しなければならぬ大問題に逢着せる時、恰も今回の大戰が突發した。戰前その改革案として帝國的組織の可能は認めて居つたので、この方法の下に成効せば、世界的聯邦問題に、確乎たる希望を與へ得るのである。

□倫理的國際關係

他の一方より云へば、國と國とが對立して大に爭ふ結果が政治上の解放となる。十九世紀の政治の進步は、或る意味で解放といふ方面に働き、更らに新らたなる基礎の上に統一されやうとして居る。立憲制度も舊い束縛から脫して、新らしい國家的政治に革新され、勞働と資本との調和を計る爲經濟的階級の束縛から離れて、新らたなる社會組織を生まんとして居る。而して各個人は獨立對峙といふ觀念が盛んになり、從つて利己主義跋扈し、他を倒しても自らの繁榮を築かんとする傾向に陷つた。從來國家の名を以てする時は、何事でも不道德ではないとせられて居つた。例へば間諜といふものは、個人の幾多の罪惡なしに出來るものではないが、東洋の戰爭には、國家の名に於て之れを用ひ、其の任務に殉ずる者は、また忠臣であつた。然し歐洲では早くからクリスト教思想によつて、之れを許さず、萬一間諜が敵方に發見された場合には、捕虜と同一に取扱はない事になつて居つた。今後は世界の國と國との關係を倫理的に改造し、倫理的弊害を退けて・世界の平和を得やうとして居る。

□四海同胞の大義

どういふ形で國と國との組織が作られるか、只一つ疑ひなく新らたに作らるゝ原理は、四海同胞の大義なる事は、極めて明らかに示されて居る。此處に基督教の使命が存する。只獨佛の基督教に對する批評は、基督教の革命を經て、新基督教が生れて將來の思想を支配し得ると信じられて居る。不幸にして歐洲各國民の所謂基督教は、社會制度となつて、一般國民に强ひられ、餘りに國家的であり、國民的であり、黨派的であつて、我々の考へる如き、純平たる基督教ではない。今後は基督教の形態を脫して、其の本義たる四海同胞の大義に赤裸々に從はねばならぬ。然るに歐洲各國に起る宗教的革命は、兎角根本問題に立ち至らずして、枝葉の問題に拘泥せんとして居る。過般獨逸の新教が、火葬を許すか否かに就て爭つた。今日迄傳染病でも、疫病でも、火葬にすることは嚴禁されて居つた。獨逸は廿五の邦より成つて居るが、火葬の許されて居る邦は、僅かに六七に過ぎず、最近プロシヤでこれを許すに至つた。反對派の牧師等は、說教壇から堂々と「今日は火葬を許すなどゝいふ邪說が橫行する」と慨嘆して居る。またプロシヤの火葬の可否が議場に上つた時、下院では三票・上院では僅かに一票の差で、漸く火葬が許された次第であつた。かく國家的の見地から、物を考へて大局を失して居る恨みがある。社會的制度として、國家的に强請された基督教は、徒らに殘骸を衛るに汲々として、其の精神を失つて居る。然し四海同胞主義は基督教を措いて他にない事は確かである。我々獨佛の如き古い教會の歷史を背景にして居らぬ者から見れば、當然の事のやうな形式打破も、凡ての因習を破つて、キリストの大精神に到達する迄には、革命また革命を經なければならぬ。歐洲にあつて基督教を批難する人があるが、これは基督教の本義に對してゞなく、形式に捉はれた誤つた基

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

督教に對する批難と云ふべきである。

□戰後の我基督教の使命

戰後の基督教の使命は、世界の平和確保にある。顧つて日本の狀態を見れば如何。戰後の日本は一層密接に、一層重大の意味を以て、世界各國に接觸しなければならぬ。而して戰爭以前は、國際間の接觸は、單に政府の手によつてゞあつたが、今後は國民全般の力によらなければならぬ。國民は世界的共同的問題につき、何を考へるか。外交も國民的に批判さるゝ度が高くなる今後は、二三の人の外交的辭麗によつて、國際上に於ける地位を贏ち得る事は出來ない。基督教を原理とする平和問題も國民的に行はれて、初めて國家の地位を認めらるゝに至るのである。我が國の現今は、基督教に背致する思想が瀰漫して居り、國民は歐洲の形骸的基督教を罵つた聲を以て、基督教の本義を未だ問はずして、現代思想と甚だ相去れるの感を抱ける者がないではない。然しながら此の儘にして置けば、國家は國際的精神的孤立に陷らねばならぬ。少數の我が國基督者は、人道の戰士として、日本國民として、自重自奮して、大に基督教の傳播に務むるの必要を認むるのである。（組合總會大演說會にて）

私の一日（二）

古谷愛子さん

女子大學を出た御內儀さん

▲細かい秋雨が僅かに潤した牧場の土の香は、夕暮の薄暗にほんのり匂ふて居た。氷川の森は巨人の樣に、牛小屋の彼方に黑い手を擴げてゐる、『ア、モシ〳〵……ハアかしこまりました……』鈴を切つて電話室から姿を現した牧場の主婦は、活潑しきつた平和な顏に、笑を堪へて迎へて下さる、『汚ないんですよ……さあどうぞ……』

▲一束の頭髮とネルの筒袖、それに縞の前掛かけた、耕眞舍の主婦古谷愛子さんは、女子大學教育學部の出身である、『始めのうちは隨分困りましたの、日常の事務を覺えるだけでも大變でした、……一體教育的の事が好きでしたのにね……もう八年になります。でも未だ牛の事がさつぱり分りませんの……先達の嵐の爲に、砂村方面の牧場が全滅して、乳が不足になり、塲類は暴騰しますし、ほんとに今はやりにくい所ですよ……』と商賣馴れた口調で語られるかと思へば、『矢張り頭の中から整理してかゝらないと、事務のことだつてねえ……あなた……』愛子さんはかう云つて意味深く笑まれた。

女子大學卒業當時の愛子さん

▲多忙な中に在りながら、母校の集會などには、此筒袖姿其まゝで飛び出して行つて、新しい知識を受入れる爲に努力なさる『もう四人の子持です、此中ですから皆野育ちです。でも至つて達者で上の二人は遠いのに歩いて女子大學の小學部へ通つてます。ところが今日途中で車をよける時、溝の中へ落ちたんですつて。腦を打つたらどうしやうと思ひました。手や足の一本位を折つたのよりは、腦を打つたのは困りますから……』此時噂の主は溝へ落ちた其まゝの、ズボンのすりこけたお下げを、ちらりと襖の蔭から覗かせた、『手足が折れても腦を打たない方が』と、母親として此力強い言葉を叫ばせた、其緊張した橫顏を、私は飽かず熟視つた。

▲『御內儀さんちよつと……』閾の側へ女中が呼びに來た、商用の電話らしい。房州の牧場の方へ行かれた御主人の留守や、殊に此頃の樣な天災事變に生物を扱ふ職業上に、どんなに心配が多いか知れない。白や黑の斑な牛が、大きな體をびつたりと地面へつけて、呑氣な居眠りをしてゐる樣なのが、硝子戶を透して暗い小屋の中に眺められた。

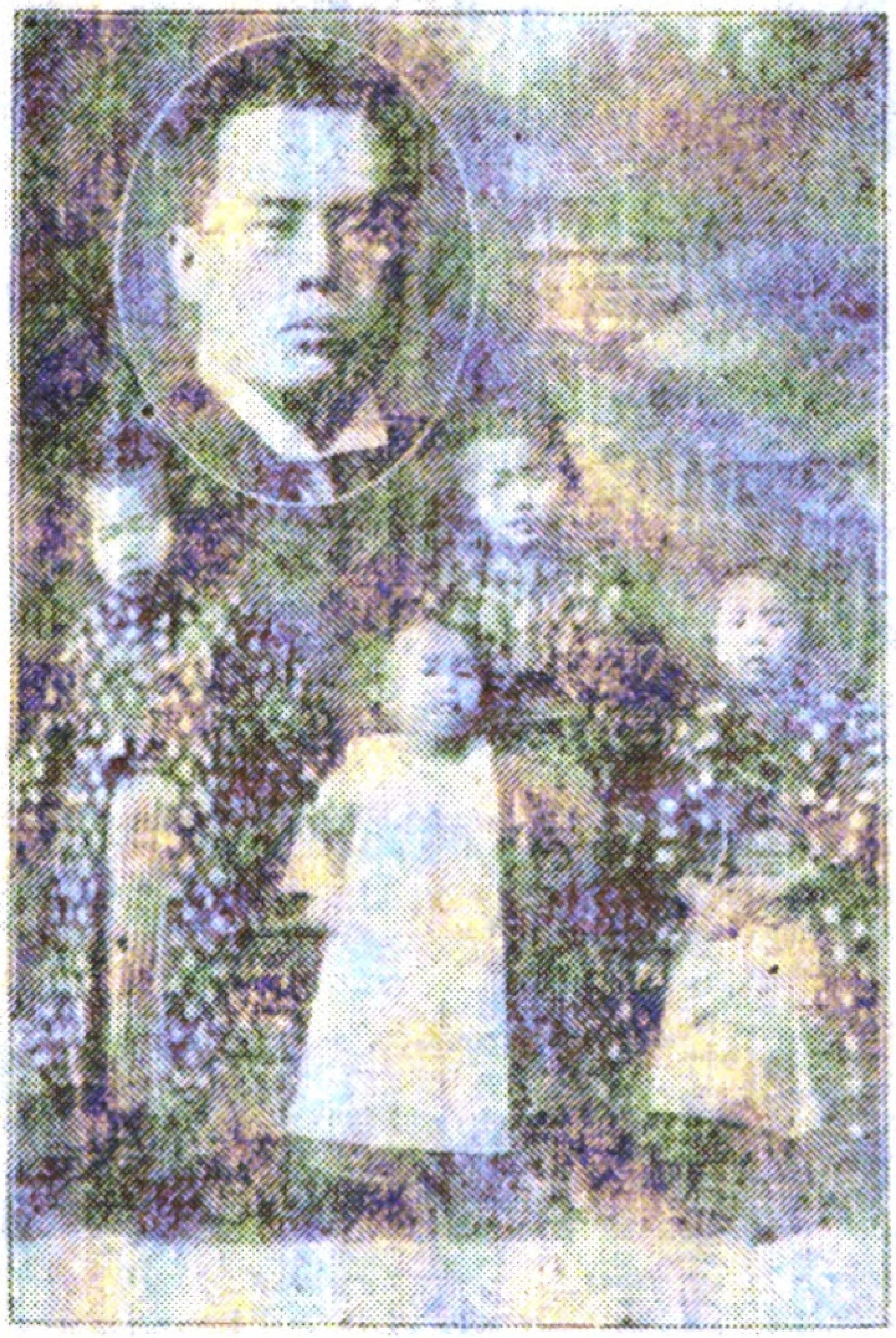
五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人界開拓者の家庭訪問（六）

下田次郎氏とその夫人

▲婦人界開拓者の御家庭訪問と銘を打つて出た以上は、下田次郎氏の御家庭を記者のノートから脫することは出來ない。それ程に氏は婦人問題とは切つても切れない密接な關係がおありなさる。即ち婦人問題講演會に、或は婦人問題研究會等には必ず氏をお見かけし・そして時々其の穩健なお說を伺ふ光榮に浴するのは、決して記者一人ではないと思ふ。以上の如き意味を以てさる日西片町のお宅へと出た。幸ひに學校へ御出勤前のお忙しい中を會つて下すつた。畫家のアトリエの樣な感じのする氣持のよいお座敷へ通ほされた。お床の軸も南畫、古色の匂ふやうな燒きものも支那のものらしく、何とはなしに東洋趣味の方でいらつしやるなど丶生意氣なことを考へながら、暫くお待ちしてゐた。すると四ッ位の坊ちやんがお父樣のお腰へしがみつきながら出て入らつしつた『學校へ出かける前ですが折角ですから一寸お話を致しませう』と先悠然とお坐りになつた



下田次郎氏と令息方
右より武三さん章さん弘さん正夫さん

▲やがて奥樣のことを稍々批判的に下の如くお話になつた。『何しろ尋常六年へ通つてゐるのを頭に七人もの子持ですから一寸考へて見たゞけでも日々の忙しさや心づかひは一通りの事ではありませんのですから。出嫌ひでも何でもありません』と苦笑ひしていらしつた。そして付け加へられた。『子供を持つ婦人が、殊に乳呑兒のある婦人がその子を家に置いて出るといふことは隨分難かしいことだと思ひます、それかと言つて連れて出るといふことは一層自他の迷惑になることが多いと思ひます、自然子供の大きくなるまでは母親は家庭でするべき用事が澤山あつて、またそれをすることが充分意義のある生活であると思はれるのです』泣いてゐる子供を、女中などに抑つけても、外出を好むやうな婦人は、屹度お嫌ひだらうと思つた。

▲時間が來た。それは氏の御出勤の時間である。記者は再び幸ひを感じた。氏の夫人はお忙しいといふよい口實を持つていらしつて、大抵の場合私共のやうな訪問者にはお會ひにならないといふことを豫ねて承知してゐた。而も今日私の伺つたのは御用の多い午前中でもあつたから無理は申上げまいと思つてゐたにも拘はらず、ほんとうに優雅な奥樣が代つて會つて下されたことであつた。『私が學校へ行く頃は未だ袴などは穿きませんでした。隨分世の中が變つたものだと、たまに外に出ますと驚かれることばかりでムいます』など丶、假初めのことに事よせて矢張時勢の推移を語つてゐらつしやる。六人の坊ちやんに一人の孃さん恰度七福神の寶船のやうに御家庭は、毎時も賑やかで、殊に一人のお子さんに二三人のお友達が集まつて、時には學校のお庭のやうな騷ぎがはじまる。子煩惱の氏はよいお父樣としてこの少年團から親愛されておいでだ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

馬好きの夫婦

―谷洗馬書伯の異つた趣味―

＊＊

馬の書家！　馬狂人！　で通つてる谷洗馬さんのお住居は、拔け辨天の傍、誰に訊いても直に知れる。門を開けるとプーンと馬のいきれの樣な臭みがする、玄關と馬小屋とが並んでる。しかも馬の住居の方が、遙かに上等に見えた。谷書伯の生命である駿馬に目通りせんと、眞先厩を覗く。馬は人懐しげな眼をあげた、栗毛の鬣ふさ〳〵と、艶々しい茶色の體を、重たさうに左右に振つた。優しい主人の手は長い鼻づらを輕く撫でた。どんな幸福な月日の許に生れたのか、『婦より馬の方が大切だ…よ』と確言し、且つ實行される洗馬氏の馬程、多幸な者はあるまい。厩の續きは畫室である、そこは又遺憾ない馬づくし、馬の置物、馬の寫眞馬の繪畫、氏が理想とせる獨逸騎兵やコサック兵の乘馬姿などが、狹い畫室を一杯にしてゐる。壁はと見れば、馬具屋より多いお道具が、きら〳〵と磨かれて下つてる。

愛馬に物云へる谷夫人

＊＊

馬の足の擦り方が惡るいとて奥さんに、癇癪玉が跳ね飛んで奥さんは一度も二度も家を逃げ出した事もある。今こそ馬丁が一人居るけれど、つひ少し前迄は、馬の世話一切は奥さんのみよ子(二十六)さんが掛り切りであつた。食道樂で客好きの洗馬氏は又かなり臺所のてんてこ舞ひをさせる方、馬丁役からおさんどん走り使ひ迄、みよ子さんは隈なくした。若いのになりふりにはかまはない、お正月始めて結つた丸髷さへ、『こちとらがそんな身分かへ』と一言の許にみよ子さんの丸髷は解かれてしまつた。それ以來、私は此方の水々しく結ひ上げた頭髮を見た事がない、いつもピン一本のつかね髮、襷がその肩からはづれた事がない。

＊＊

食道樂の洗馬氏に仕ふるみよ子さんは、又極めてお料理道樂である、どんなに夜晩くでも、洋食支那食、何れでも命ぜられたま〵に拵へて供す。日曜日などは、騎兵將校等が澤山押しかけて、夢中になつて馬の話に花を咲かせる、奥さんは臺所を倫ひ廻して一日が暮れる。其間にも奥の變つた馬の話には、みよ子さんの耳はいつも動いてる。結婚後は段々みよ子さんも馬の趣味に同化されて、今では馬無しでは淋しくて過されないといふ。道を歩いて〵も馬に重荷を背負せて、苛酷にしてるのを見ると何より堪へられない。そし

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ていゝ馬はいつもみよ子さんの目を引く、見えなくなる迄立ち止つて眺めてる。あの馬の足の工合、尾の様子、『他の人に美人が目につく様に、僕には馬が目について仕様がない。活動寫眞でも馬が出ないのはつまらない』馬好きの夫婦はいつもかう云つて語り合つてる。

＊＊

朝は露を踏で洗馬氏が愛馬を戸山原に驅るのが日課である。旅行嫌ひの氏はいつも家に籠つて、馬具をいぢつてる。氣が向けば筆を走らせて馬を描く、大きな聲で謡曲をうなる。ほんとに子供の様に無邪氣な方だ。馬狂を以て人も許し自分も任ずる程、一つの趣味に固定した氏は、凡々たる俗界とは隔つてる、「困り者ですよ」と老いたる母様は、小さな子供にでも洩らす様な口振で仰言る。『子供の頃毎日〳〵一錢の馬の玩具を一つ宛買て與へなければ氣がすまない子でした。そして其馬の足を皆もぎ取つては池へ捨てたものでした。谷の鴨馬と名前迄ついたものでした』私は母様のかうした話と、現今の洗馬氏とをつなぎ合せて、淡い浪漫的な、情調にさへ唆られた。馬に關するもので欲しいと思ひ出したら、矢も楯も堪らぬ‥どんな手だてをしても、どんな高價な物でも買ひ取る迄は氣がすまぬ』『それが病氣なんですからね』とみよ子さんと母様とは口を揃へて仰言る、『何を〳〵云つてるんだ』冗談の様に洗馬氏は輕く笑つて受け流す。みよ子さんがたつた一つ、拵へて貰つたものがある、それが銀の鐙の簪であつた。さす術もなくみよ子さんはそれを出しては、ほゝゑんで見せた。書家は氣まぐれである、忘れた頃隅へ追ひやられて埃まみれになつた繪皿がとり出される、『繪を書いてる時は私どんな無理を云はれても、おとなしく從つてますの』みよ子さんは畫家の妻らしくかう云つた。

『オイ…コゾヤンにかいばをやつたかへ』繪筆の間にも、氏は持ちまへの大聲を張りあげて馬を案じた。厩に一寸でも異様な音がしやうものなら、大音聲

きつけるのが、無心で罪を作るのである。桶を鼻の先へ突かけて、床へ叩と共に飛び出して行く。かひばを食ひ終つた馬は、いたづらに

化學工業博覧會

東京たより

▲上野不忍池畔に咲き出でたサイエンスの花、化學工業博覧會は、靈妙な學理の權威を誇りかに、機械の音を鳴り響かせ、吾々が日頃氣もつかない物質を化して、必要缺く可らざる日用品を成産して居ります。過る暴風雨に大破損したときく同會は二三日にしてすつかり取繕はれて終まひました。大きい建物は東館と西館、次いで北館、別館、參考館、教育館、朝鮮館に臺灣館歩くだけで足はたゆたひ、頭腦は輕い疲れを覺えます。空中窒素固定裝置など機械の前にも大學生らしい人が頭を傾けて、つぶさに研究して居ました。鑛山の副産物赤染藍染の前には人かり立つてます、そこでは二十五分間に手拭地をきれいに染めあげてます。

▲多くの婦人の美しさ足を止むるのは評判の臺灣神社模型です、それは約五千斤の樟腦が費されており、眞に此純白な宮の中に北白川能久親王殿下の尊きみたまのおはすらんと頷かれます。奇巖怪石を嚙みて石鹸の泡が噴出してるかと思へば、天井から大鰐の皮がつる下つてます。ぷんと好い匂ひのして來るのは香水を、鶴になぞらへられた人間が撒き散らしてるのでした。ほつとして息をつく間もなく次から次の館内へ入ります。かうした場所に於て殊更其人々の專門なり職業なりが目に立つのも面白いと思ひました。石綿製造、帽子製造、陶器店などの前に立つて感心してる人々は、皆それらしい人柄なのでした。

▲外へ出れば音樂堂の樂奏が群集の上へ注がれて更に急がしく足を運ばせます。賣店や特設館が又一と見物です、那須ケ嶽硫黄鑛山採收の光景で人形が實際によく出來て居たと思はれました。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（二十三）

人形師

安本龜八氏の工場

＊＊

めまぐるしい淺草仲店の通を拔けて、觀音樣の境內を後の方へ過れば、人足もまばらになつてほつとする。稽古の三味が、とぎれ〳〵に、せゝこましく綴いた低い軒から流れて來る、孫を背負たお婆さん、手拭で鉢卷した子守などが、石の上へ腰を下して鳩の行方を見守つて居た。五區六區、聞いた許りでも何物か、暗黑の社會を聯想する、艶かしい人達と擦れ違ひながら、私は默然と歩いてゐたが、とある右側の素人屋らしい門を入つて案內を乞ふた。人形師安本龜八氏のお宅は此處である。黑塗の大きな茶舞臺の前に座した氏は、肥つた品格の備つた方、夫人は楚々たる美人である。氏の製作に成る人形の、どこやら此方に似通ふてるのも頷かれた。

＊＊

お座敷から劃られた大戸を開けて、廊下傳ひに行けば、階上階下皆廣やかな工場である。木の匂ひ膠の匂ひ立ちまよふ。商店の飾窓や博覽會に立たせられる人形は皆此工場の生れである。まざ〳〵と木に刻まれた手や足は、五本の指がはつきりと數へられる。實物大の木のまゝの頭や胴は見馴れぬ眼をひどく驚かせる。けれども胡粉や繪具で美しく塗り上げられた櫻の頬と、文金高島田の水の滴れさうな出來上り、殊に夫人の好みに成る着物で、きつちりと着附が出來上つた風情は、今にも笑ましげに、今にも歩を移すかと許りに眺められる。美人は軈て箱詰にされて遠方の注文先へと運ばれる。遠く海を越えて日本美人の色と香を、異國の人に誇るもあれば、田舍の飾窓にしよんぼりと都姿をさらすもある。同じ家に、同じ手に生れ出でた人形の、同じ美を持ちながら、運命づけられたまゝに送られて行く。禍福の分岐點は、恰度人間が大きな不可抗力な、運命の手に左右せらるゝと、少しも違ひない。

＊＊

私はこんな事を考へながら凝と立ち止つて居た時、手足は傷ち髪はおどろに亂れた人形が、箱の中から取り出された。それは古くなつたのが、地方から送り返されたのだと知つた。いぢらしい娘でも眺める樣に、製作者の眼は輝いた。傷いた、けれども人形は幸福である。彼等の頭髪は專門の髮結さんに托され顏は再び美しく塗り上げられて昔の美を恢復する事が出來るからである。

『矢鱈に形さへ作れば可いといふ譯のものではありません、矢張りモデルが欲しいのです。電車に乘つても、道を歩いてゝも、とかく美人が目につきます。時によつて田舍まる出しのお婆さんが欲しい時は、わざ〳〵近在迄も見に出掛ます。ところが近頃は、近い田舍はすつかり都化されて、眞から質朴の色を捕へ得る事はむづかしいのです。いつかも淺草の境內でほんとに理想に叶つた子守婆さんを見附けましたので、急いで歸つて來て、家內に話し、迎ひに行つてぜひにと來て貰つたことも有りました。』

氏が語る尊い藝術談に溶け入つて、私は飽かず耳を傾けた。

（住子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

細君內助の惡

月並みな婦女の感化

斬雲

□**骨無し男を作る**

眞の大智識でなく、唯だほんの俗智を以て、妻が夫に多く入れ智慧すると、夫れは、內助の功とならずして內助の惡となる事が多い樣です。俗智とは、高遠の理想もなく、人生に對する或る徹底した見識もなく、唯だ臨機應變の世才を言ふのです。政黨の首領が部下の策士に誤られたり、長官が小才子たる秘書官に誤まられたり、凡て之は女房役の鼻元思案的內助の惡とも言ふべきものです。等しく妻の俗智的內助の爲めに夫が自由意志の活動を失つて大いに世間體を惡くしあたら器量を下げる事が多いものです。啻に之れのみならず、餘り細まゝしく夫の一言一行に俗智の內助を浴びせかけると、夫は骨のない八方美人主義な男になつて、天賦の長處迄も全然失つて了ひます。

□**夫の風格を磨滅す**

內助の惡の最大なるものは、之に依つて、夫の風格を損ふ事です。然らでも二百年間奴隷式の教養を遺傳した日本人は、千紫萬紅、夫れ〻〻差別ある風格を消磨されて、凡て一樣に型にはまつた類型的人格ばかりなのです、私は嘗て早稻田對米人の野球試合を見物した折り、日本人は、一式一樣の服裝に、同じ樣な中折帽で—まるで社會的制服制帽といふ扮裝なのに比して外國人は、十人十種、服の型から、帽子の型迄、各其人の體格と人相に釣合つた扮裝して居るのを見て、外人が日本人を猿と嘲るのが道理ある事だと思つたのです。人間が各自特色ある風格を維持する處に社會の妙味があるのです。然るに惡內助の妻は、隣家の主人を手本として我が夫を仕付けやうとします。人間に獨自の風格があるといふ事は、其人が眞に生きて居る事です。當節之を個性の發揮と言ひます。人間たるの面白味と、妙味とは、此の獨自の風格に存するのです。然るに惡內助は此の風格を禁止するのです。

□**細君の感化力**

或男が性來無造作な明け放しの磊落な氣象で、面白い人間と言はれて居たが、俗智に長じた細君を迎へると、細君入れ智慧して曰く「訪問客に對して、おいそれと應答しては位が無くなるから、一旦奥の室へ引込んで夫れから重々しい咳拂ひして玄關へ出なくてはいかぬ」と。無邪氣な性質の男は、之を遵奉して、歌舞伎の殿樣式態度を取つた爲めに友人間の物笑ひとなり全然器量を下げた話もあります。又細君に一擧一動、世間なみの注意をされると、自分では糞喰へと云ふつもりで居ても、何時の間にか、暗示をかけられて、外出時にも十間毎にズボンのごみをはたきながら步るくといふ下品な男になる例もあります。細君の夫に對する小言は消極的に目に餘る方面丈けに止め、夫の毒にならぬ天賦の性癖などは、大いに放任主義を取るべきものです。殊に趣味上の事に迄立入つて夫を月並式の俗人にして了ふなどは最も普通な內助の惡です。女房を持つて急に嫌味な氣障な、氣取り屋になる男が多いなどは、確かに內助惡の結果です、然う言つては失禮かは知れぬが目下の日本婦人は、男子に比して甚だしく月並みです。そして、女の俗智が何時となし、同棲男子を感化する勢力は偉大なるものです

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

米に代る
簡易な食養
一食だけでも試みよ

海軍中佐　若林欽

□三度三度の米飯は贅澤

三度三度米の飯を常食としてゐることは贅澤であり、そして時間も非常に不經濟であると思ひます。日本の主婦は殆ど食事の事で一日の内の大部分を費してゐる向きが多いではありませんか。せめて一食位は簡單な方法を考へて實行して見たらよいでせう。殊によい目前の手本は今回の水害です。更に眼を遠くへ放てば歐洲の大戰亂の光景です。メリケン粉製のパンを節約してゐる國は澤山あります歐洲では何處でも其の位の事は考へてゐるのです。船乘であつた私は、一週間に二度位しか米飯は喰べなかつたのですから、かうした問題が出ますと、可成極論することも出來ます。即ち安價で滋養のある手數のかゝらぬ食物を撰ぶことは、凡ての婦人が心掛け研究すべきであると思ひます。

□小麥粉を蓄へよ

常年水害を蒙り易い川添の土地では、小麥粉の用意をしてあるものです。都人士はもらつて迷惑するものゝ事を「麥こがしをもらつたやうだ」と皮肉を言ふのですが、是は菓子のやうに間食物だと思ふから、砂糖が澤山入るので甚だ不經濟となるのですが、一度の食事の代用に爲るには、鹽氣を勝たして、黑砂糖或は赤砂糖で調味すればよろしいのです。是は小麥に限らず大麥で取つて置いてもよろしいのです。

□ビスケツトが宜しい

手近い代用品にはビスケツトが一番よろしいと思ひます。然し菓子やで賣る一斤三四十錢以上もするやうなのを言ふのではありません。あの軍用パンの事です。大の男でも一度に四枚もあれば足りますから、婦人小兒ならその半分か三分の二でよいでせう。是の喰べ方は乾いたまゝで喰べるのではありません。小さくしてコップなどに入れ、湯か水を入れてかきまはして喰べるのです。甘くて隨分腹に堪へます。子供は學校で、主人は勤め先きで、主婦は留守宅で、晝食を、この簡單な食事で濟すとしたなら、何れ丈便利でせう。副食物には鮭の鑵詰などが適當でせう。漬物でもよろしいのです、一食位は副食物がなくてもよい筈です。

□握り飯の便利

握り飯も便利なものです。鹽むすび、つけやき、海苔むすびなどありますが、腸胃を痛めないで、そしておいしい握り飯は紫蘇の葉で包むことです。梅干や澤庵を蓄へるやうに、家庭で紫蘇の葉を其の季節に蓄へて置くと宜しい。よく洗つて輕い鹽押にして置き、燒き握りでも、燒かないのでも、それにつゝむと夏は時間も保たれ、消化もよろしいのです。紫蘇の葉は胃の爲に非常によろしいものです。

ノートから

▲衣服は凡て氣候より先んずる方が氣持もよく、從つて禮に叶つた事とされて居ります。春の袷には單襦袢を重ね、襟も袖も夏物を使ひますが、秋の袷の下には、冬物を用ふるが例となつて居ります。▲此の頃のやうに、夏でも羽織を着る世の中には、紋さへあれば婦人も羽織を着る事が、禮儀のやうに思ふのは、間違ひであります。少し規律のあるお家では、親類同士の訪問でも、玄關で羽織を脱ぐさうであります。從つて少し儀式ばつた席には、冬でも羽織は決して着ない事になつて居ります。元來婦人の羽織は部屋着であるべきで、打寛いた服装であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

活動寫眞の

規則と我家の子供

ガンドレツト恒子

私共の子供は皆活動寫眞が好きでよく伴れて參りました、ところがある時入場しやうとすると、入口に居た男がちよつと躊躇して、遂に子供の入場をこばみました。活動寫眞の規則改定とは子供達には解りませんので、斷つた人を大變いけない人だ、不親切な人だと口々に恨みましたので、私は子供の頭に入る樣に平易に其譯を話して聽かせました。これは却つて眞の親切からされたのだといふ事が、子供に解つたかどうか知りませんが、今迄行つて樂しんで居た、大きな娯樂が凡て失はれてしまつたわけです。時節柄子供の爲めのフキルムが不足なので、到底今迄の樣な滿足を彼等の上に與へる事は出來ません。從て近所の子供さんなど見て居りますと、今迄忘れてゐた芝居だとか、他の見せ物だとかいふ方面へ足が向く樣な有樣です。當局として子供の爲にこれ程迄に留意して下さるといふ事は、親として私にほんとに有難い事だと存じて居ります。親を離れて子供達が、他の家へお客にでも行つた場合、無暗に何でも見せられると云つた樣な心配を除かれたからであります。唯此上にどうか、子供の爲に、不足なくよいフキルムが澤山用意されて欲しいのでございます。幸に神田の青年會館に、時々子供の爲の活動寫眞を見せて下さいますのを、宅の子供達は樂しみにして居ります。併しこれとても、何時でもあるといふわけではなく、遠方ではありますし、今迄のやうに度々樂しませる事は出來ないのでございます。

洋式禮

輕い訪問の場合

日本人の間違ひ易い點

▲午後の訪問の場合、ちよつとしたお茶の輕いお作法を、お話し申上げませう。

日本のお客樣で一番氣がつきますのは、やたらに遠慮をして折角のお茶を次へ〳〵と廻すので、お給事の手數が掛り、お茶は冷えるし、こぼれも致しませう、又傍から見た所も餘り結構なものではありません。こちらでは大方お客樣の、年配だとか身分とかで上下の區列を附けて出すのですから、鳥渡會釋くらゐして、どん〳〵遠慮なしに受取つて貰ひたいのであります。

▲次に召上る時に音をさせない事です。スープなど吸ふのに、話の聽きされない程、ペヤ〳〵音をさせるなどは、殊に氣をつけなければなりません。も一つはお茶を頂くのに、茶碗の中へ匙を置いたなり呑まない事です。尤も熱いと思ふ時には、始めの

十二

化粧問答

問 私は白粉を塗つても何時も直にムラが出來たり、鼻の上がはげたりするのですが、何か宜い法はないでせうか。（芝芳子）

答 白粉は何をお使ひか知りませんが、クラブ白粉のやうな上等の白粉なら斑になつたり剝げたりする心配はありせせん。尙、白粉を塗る前には是非クリーマを附ける必要があります、以前は堅油を顏へ塗つたものですが、臭氣がある爲め此頃では使ひません、今では皆一番よくきくアレ止日焦け止め兼用のお化粧下クラブ美身クリームをお使ひになります、クラブ美身クリームを少し掌に取つて襟から顏へかけてスツカリ斑のない樣に擦込み、夫からノリも延びも天下一品の稱あるクラブ白粉を叮嚀にお塗けになれば、ムラも出來ず、又お化粧の持ちも一番宜しう御座います。

問 私は眉毛が薄いので、色々な藥を使ひましたが、反つて毛が脫けて困つ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一口二口を匙の端から呑むのは差支ありませんが、でなかつたら匙はちやんと請皿の上へ置いてから呑みます。

▲お菓子を食く時は、膝の上で割つて食べるのは宜しく有りません。必ず粉や砂糖などが落ちますから、ナプキンペーパーか、皿の上で食べます。煎餅の様なものでしたら、割らずに端から食べます。羞しさうに下うつむいて、卓の下方で食べるやうな格好は極めて不作法なことにしてあります、又殘つたものを、そつと紙へ包んで持ち歸るなどは、日本風としてはつゝましくも見えるのか知りませんが、此場合は皿の中へ殘して歸つた方が、宜しいのです。

▲果物は圓いものでしたら、皮をむく前に四つに切つてから、剝きます。滑つたり落したりしないで、體裁が宜しうございます。一體物をいたゞくのに口一杯に頬張るのは、みつともない事ですし、もし人から話をしかけられた時、目を白黒して甚だ不體裁を極めなければなりません。

▲物を召上つて了つてから、つまんだ人さし指や親指を、つひ無心にペロリ／＼となめる癖なんかは、ほんとに宜しくありません。敷いてある紙で拭きたいものです。ですから大きなお菓子やクリームなどは、フォークをつけて出すのが宜しうございます。

▲なほお茶の時は話を止めずに續けて、樂しくいたゞくのです。

（ガンドレット夫人談）

初袷の流行

色は濃く柄は精巧

▲軽い初袷の流行を見やうと、デパートメントの入口をくゞりました、色氣は益々濃く、模様や柄行は更に精巧を極めて居るのに驚かれました。それはどの店でも金にあかして新柄圖案を募集するからでありませう。併しどの色を使つて見ても派手で高尚なのは矢張り紫に限るさうで、今年も若向きとして紫紺がもてゝます。藤色、桔梗、紫紺、花色など、模様に稍古代めいたものに移つて行つてます。伊勢や源氏の繪巻物など喜ばれて居ります。おさな向きとしては紺や錆紺、茶さ鼠な工夫したもの葡萄茶など歡迎され、時代蒔繪の繪櫻など、最も喜ばれてきます。地質はごく軽いものが喜ばれ、主に金紗、縮緬や小濱縮緬などであります。

▲縞は段々單調なものは飽かれ複雑なものになつて來ました。つまり地色を濃く縞柄を薄くして見たり、模様化した縞など最も面白く眺められました。

▲絣も十の字や井桁の様な單調なものは捨てられ、極く不規則な賑かなものが流行して居ります。子持絣、又は花模様の絣など大島紬には、最も好ましい品が多うございました。

▲服装美の中心點であります帶は、殊更明るい刺繍入の派手やかなものが並んで居ります、糸錦唐織などの丸帶、金紗の片側に手に取つて見たいもの許りです。軟か味を感ずるのは刺繍入であります、青々とした竹の節を銀砂子で現はし、刺繍で愛らしい雀を飛ばせたのなど上品でした。古代模様や樂器模様も美はしく、澁い向きとして廣東更紗寫の名物裂など好ましく思はれました。（三越にて）

て居ります、何か良い品はありませんでせうか。（神田　美代子）

答　如何はしい品をお使ひになると益々毛が惡くなる計りですから今度クラブ白粉本店から發賣されたクラブまゆずみのやうな純良な品を用ひ形をよくお作りになりますと、如何にもわざとらしくない自然の蛾眉を現はし、眉毛の爲めにも一番宜しうございます。

問　私は顔を剃るのが嫌ですから白粉が乘らないで困ります何か化粧法はありますか、（麹町　茂子）

答　ムク毛のある方には煉白粉は乘り兼ねますが、何も煉白粉を使はずとも美しいお化粧はいくらも出來ます、先づクラブ美身ゼリーム（又はクラブ美身クリーム）をお化粧下としてお引きになつて其上へクラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルで眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒としたお化粧が出來上ります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒(廿)

ジヤツクミジル(下)

琴子

ジャックとジルは兄妹でした。そして村端れの小さい家に二人きりで住んで居ました。

デビッドはそこへ連れて行かれて、親切に世話して貰ひました。

それから、デビッドは家へ帰りましたが、ハアレーおばさんに、着物の破れたわけだの、怪我をしたわけだの、皆くわしく説明するのに随分時間がかゝりました。いつもどんな時でもデビッドにはやさしいおばさんも其晩だけは大變厳しくて、

「デビッドや、お前、どんな事があつても・喧嘩をしたら、きゝませんよ、ごく悪るい事だ。」

「でも、おばさん、僕猫を助けたかつたんだよ。」

「喧嘩をしないでも、助けられるよ。」と言つて居ました。

「けれども、おばさんは、デビッドの傷の世話は大變やさしくしてくれました。

寐る前にデビッドが

「おばさん、今日僕の行つた家の「ジャックとジル」さんつて誰れ？」と尋ねました。

「あれは、ジョン、ガンシーさんと、其妹のジュリヤさんつて言ふんだよ。ほんとに氣の毒な話があるんだよ、父さんも母さんもなくなつてしまうし・兄さんのジョンさんは大學校の途中で病氣になるし、今は學校もよして妹さんと二人きりで淋しく暮して居るのだよ。」

と言つてきかせてくれました。

その後、デビッドは度々、二人の家へ遊びに行くやうになりました。

或日いつものやうに四時に仕事がすんでから、ジルの家へ遊びにまゐりました。丁度、ジルが一人で、椽側の處に腰かけて居ました。

「ジルちやん、僕、猫を見に來たんだよ。大きくなつたらう。」

「えゝ、大きくなつてよ、さあお上りなさい。」

こんな話をして居ると、奥の方から、ヴァイオリンの音がして來ました。デビッドはすぐ耳を立てゝ聞いて居ました。ジルは其様子を見てすぐに、

「あれ、兄さんが弾いてるのよ。兄さんもあなたと同じやうにヴァイオリンが好きよ。」と言ひました。

そのヴァイオリンはどうした事か同じところばかり弾いて、一向先きに進みません、如何にもむづかしさうでした。デビッドはたまらなくなつて、

「兄さんはどこに居るの、僕行つて教へて上げやう。」と言ひながら奥の部屋へは入て行きました。

「僕、教へて上げませう、からすれば、なんでもないんです。」

「あ、ありがたう。又してくれ給へ、これはとても君なんかの手にやおへないんだよ。」

「何でもありませんよ、一寸借してごらんなさい。」

ジャックのヴァイオリンを無理に取つて弾き出しました。ジャックが今まで苦しんで居た處をやす〳〵と弾いて、その次のページも又其の次のページも上手に弾いてきかせました。

今まで馬鹿にして、苦笑ひをして居たジャックはビックリしてしまひました。

「君、一體、誰れだい。」

「僕、デビッドぢやありませんか」

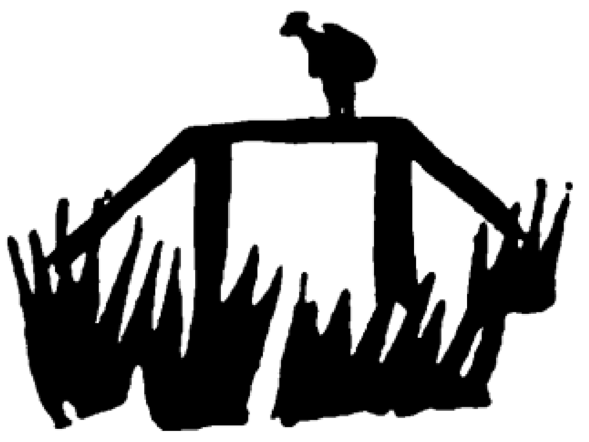
「そりや解つてるが、一體、誰れに教へてもらつたんだい。」

「父さんに。」

「君の父さんは誰だい。君にラテン語を教へたり、柔術を教へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たり、ヴアイオリンを教へたらきつと偉い人にちがひないよ。一體君どうして一人でハアレーの家なんかに居るんだい。」
　デビッドはいつでも、誰れにでも聞かれる問を又きかれました。デビッドはもうそんな問にはあきました。けれども今日は親切なジャックとジルが一生懸命に聞くのでしたから、少しもいやがらずに、初めから自分の話しをして聞かせました。



黃金の露

（中）

波留子

　ジャン、クロードは尙も老婆の足を止めて此事に就き樣々と詳しくたづねました。すると忽ち精神の眼が開けて、只た今學んだ事によつて是迄の手落が悉く了解つて來たのでした。
　家へ歸つてから床に入つても其事ばかり考へ續けました。
　暗黑の中に閉ぢた眼をはだけると彼の所有物として亡父親から讓られた小狹い畠に、とんと野生のうゐごやしを見るやうに黃金の露が處せく置渡されて居る景色が見えて參りました。彼は手に握み切れない程露の珠を拾ひ集めました。手には握んで居られず、衣藏には藏ひ切れないので足下に積んで置きますと、最初は足のくろぶし迄でしたが、次第に膝迄となり、終ひには帶迄とゝき、宛然黃金に浴して居る樣な心持になりました。
　はつとして夢から覺めたジャン、クロードはもう夜明けかしらと思つて飛び起きますと、曉方の空は朗々と白んだばかりで、日の出にはまだ大分暇が有りました。けれども彼は昨晩出逢つた不思議な女乞食の豫言と云ひ黃金の露の夢と云ひ、何となく彼の未來が祝福されて居る樣な賴母しい氣がしてならないので、仕度をするなり鋤を手に取つて、一日散に畠へ駈けつけました。其處で一日彼は日の上つたのも、西の山に隱れたのも氣付かずに、殆んど夢中になつて黃金の露の收穫ばかりを考へながら働き盡しました。然し彼とても果して女乞食の云つた豫言がすぐ顯はれやうとも思ひませんでした。さういふ事が實現する迄には、多少の時間を待たねばならないものとは覺悟して居りました。
　まだ年の行つて居ない故もありましたが、是迄は幾分かやりつぱなしと云ふ氣味のなかつたでもない此青年が、未來に希望の輝きを認めつゝ努力した此一日の勞働は、彼の心身に云ふ可からざる快感を與へたのでした。其翌日も亦其次の日も、來る日も來る日も最初の日の通りに躊躇みなく鍬を取つては荒地を耕し根よく開拓に從事しました。
「黃金の露」と云ふ希望は毎朝毎朝必らず日の出前に彼を畠に引張つて來るのでした。そして一度勞働に着いたら最後、手許の見えなくなるまで丁寧に耕した跡へ種を蒔いたり、穀物畠をとゝのへたり、或は牧場の柵を結ひ直したり、煙草休み一つするでも御座いませんでした。
　斯樣な風で其年も暮れ其翌年其翌々年と、丁度彼が心氣一轉して勞働の人となつてから、三年目の事で御座いました。さしもに荒れ果てゝ居た彼の畠も大分よい收穫を見るやうになり、此分ではいつか不思議な老婆の口をもれた黃金の露の收穫も遠からぬ事であらう、それにもう今年で丁度約束の三年目になる、などゝ考へてジャン、クロードはいつもの習慣の樣に曉方早く畠に出て其處此處を見廻つて居りました。

＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

犬と彼等（九）

高田てい子

いゝとみが病氣になつたのは、清伍が旅に出た留守であつた。

彼は役所の仕事の都合で休みがとれたら、信州のS温泉場にいつて、そのついでにS湖畔にあるいくつかの製絲工場と、そこに働く多數の女工の生活狀態を見てきたいといふ希望をまへからもつてゐた。それで七月末の數日の休みを休息と視察に使ふことにした。

彼が旅立つて三日目の夜に、京都からきた畫をかくNさんと、その友人のUさんTさんHさんなどがおれいの家に集つた。Kちやんもきた。雲のかさなり合つたいやな夜であつたが、櫻の樹の下に椅子やテーブルを出して、くつろいだ戸外の團欒をもつた。尤もかるい上手な座談で、みんなの心を陽氣につなぎ寄せるやうな人はひとりもないので座はをり／＼沈默に落ちた。自分の内に各々が滅入りこむやうな靜肅にとざゝれがちであつた。

Tさんは間もなく結婚して東京をはなれる人であつた。結婚間近かのTさんの心をおれいはあらためて問ねたりした。彼は歡びよりも不安や怖れが多いと言つた。感情がまだ戀愛にまで醱酵しないうちに、周圍の事情から結婚を早くしなければならないことが、Tさんに怖れをもたせてゐるらしかつた。

「――これから最も力強く自らに立ち、自らのたどるべき道に向つて大膽であり、正當に彼女を了解し、そしてあり丈けの思ひを以つて、彼女の全體をうばはねばなりません。

ともかく其後の私は、悲しいやうな、怖しいやうな、うれしいやうな、なにもかもごつちやになつて……」

Tさんから最近にうけた手紙のうちの、さういふ言葉をおれいは思ひ出してゐた、それに答へて數行のみじかい祝詞を彼女はかいた。しかしたゞ歡び丈けの單純な心はどうしても贈れなかつた。どこかにうら悲しい涙があつた。さびしかつた。それは結婚しやうとする誰にでももつ同じ感じであつた。

美しい聲をもつNさんの歌は、その夜のプログラムから除けないものであつた、みんなが歌つて下さい、歌つて下さいとNさんに迫まつた、Nさんはあんまり攻められるので困つてゐた、そしてやつと一つ二つ唱つた。しまいにはTさんとKちやんも加はゝつて、讃美歌を二部や三部で合はせた、澄んだ靜かなメロデーが郊外の夏の夜をほんとに幸福にした。

その晩とみは一ばん燥いでさわいだ、とみは平常から客好きであつたから、この多勢がよほどうれしそうであつた。そしてしつこくみんなに飛びついたり、いくらでもお菓子をほしがつたりして、おれいから何度も叱かられた。

しかし翌朝とみは跛になつゐた。彼女が起きたとき後の右肢をもちあげて、けだるそうに飛んできた。昨夜たれかに踏まれたのだろうとおれいは最初思つたが、一度もなきごゑは聞かなかつたので、その推察はとり消さねばならなかつた、藪のなかで毒虫に刺されたのだろうと、二度目に診察した、しかし少しも腫れてゐないのはをかしいと伯父さんは言つた。とみははげしく泣いて肢に觸れさせなかつた、そして晝頃からは寢間――臺所の床下にある炭箱のかげそ、とみは自分で寢床にえらん

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でしまつた。――にとぢこもつて食物さへとらなくなつた。おれいは暑い中をわざ〳〵とみが好きなパン菓子を買ひに出た。玉子焼でほそい卷ずしをこしらへてもつて行くと、お菓子よりもそのはうを食べた。「食べさへすれば……」と人間の病者にもつと同じやうなことを思つて悦んだ、彼女はたび〳〵床板をあげてのぞきに行つた、そして愛撫や慰籍のことばをいろ〳〵ならべてゐた。

「とみはね、あんまり惡戯するからよ、だからそんなに肢が惡くなつたのよ、もう藪の奥へなんかあんまり入るんぢやないよ、ねえ、ちよつと見せてごらん、そんなに痛いの？どうしたんだろうね」

と時々は批難もまぜて心配してゐた、而かも本氣で眞面目であつた。

Kちやんにはとみが病氣のことをわざ〳〵知らせた。「小父さん――Kちやんは清伍をそう呼んでゐたので――かかへるまで、とみが生きてるといゝと思ふ、もし留守のあひだに死んでゐたら、歸つてきつとさびしく思ふだろう、どうしてやればいゝのかわからない、可愛そうで涙が出る。ゆうべはあんなに元氣だつたのに」などとまじめにかいた。

翌日になつてとみはなほ惡くなつた。もうなんにも食べなかつた。とき〳〵かぼそい悲鳴をあげてたゞ寢てゐた。おれいはその日來たものは誰にでも、犬の病氣について知識を求めた。魚屋は牛蝨が指のあひだに喰ひこんでゐるのだろうと言つて、二ッ三ッ例まであげた。八百屋はおれいの毒蟲說に同意した。なんにもわからないものはたゞ同情した。

その晩は伯父さんも外に出て田舍めいた離れ家には彼女ひとりになつた、彼女は夜のひとりをしばらくぶりで迎えた。それはさびしさよりもむしろ歡びであつた、座敷の電燈を消して暗い庭にむいて腰かけて、見ゆるものや見えないものと饒舌つたり、應接したり、歌つたりしてゐた。

ふとなま温いものが足元にふれた、とみであつた、不自由な肢をひいて彼女をしたつてきたとみであつた。

「まあ、とみだつたの」

と彼女は、痛い肢にふれないやうにそつととみを抱いた。

「とみと二人だつたのにね、忘れてゐたね、とみを、とみは病氣だつたのに……、さびしかつたの、ひとりで……」

彼女は涙を一ぱいにしながら今度は小さい動物と話した。その晩おれいは自分の寢床の側でとみを看護した、呻くので眠らなかつた、彼女は親の愛をしみ〳〵思つた。

噂

▲平塚雷鳥女史に、去月廿七日男兒が生まれた。女史は「この頃私の思想は變遷しました。もう筆を取ることは、暫らく致しますまい。この夏はこの通り蒲團の洗濯まで致し、終日襷がけて働らきました。」と餘り兜を脫ぐ事が、早くはあるまいかと或人が語つて居られた。▲三浦環夫人は、來春布哇に立寄り、久々で歸朝するとの事、七十萬圓を携へて歸られるとの話▲矢島楫子女史が近く北海道に遊說を試みられた節、船場から停車場に歩かれやうとすると、連日の雨に道はぬかるし、折惡しく車はない。ぼつ〳〵と杖をたよりに歩まれる姿に、同じ停車場へと急ぐ紳士が見かねて「そのお婆さんを背負ひませう」と同伴の若い婦人に申された。女史は辭退するにも拘らず、紳士はさつさと背負つて終つた。停車場に着いて女史は名刺を出し厚く禮を述べると、件の紳士は「あゝ、あなたが矢島先生ですか、あなたを背負つた積りはありませんでした。」と申されたので、一座大笑ひされたとの事。

編輯室より

▲今度の暴風雨の慘害は日を追ふて甚だしかつた事が分つて參ります。山の手の邊も、人夫不足の爲め幾日か塀を倒した儘にしてある家を見かけます。東部の四十萬戸殆ど完膚なしといふ新紙の報道の強ち大袈裟でなかつた事を思ひます。▲此處に近い靖國神社の櫻の大木も數知れず倒れ、無慘に鋸にひかれて薪に持つて行かれます。來年の花の頃はあの櫻色の密雲は見られなくならうと惜まれます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◎水害御救恤　天皇皇后兩陛下には今回の大風水害につき、東京府、神奈川縣、千葉縣、茨城縣へ御救恤として左の如く御下賜金の御沙汰があらせられました。

一金五萬圓　東京府へ
一金七千圓　神奈川縣へ
一金二萬五千圓　千葉縣へ
一金二萬圓　茨城縣へ

◎皇后陛下行啓　去る八日學習院女學部へ行啓遊ばされ、在學生徒一班の平素の授業を御覽ぜられました。[illegible]陛下には、近々中央幼年學校に行啓、淳宮殿下の御勉學振を御覽せ給ふ由です。皇后陛下の同校啓行は今回を以て嚆矢とします。

◎中立國へも輸出禁止　米國政府は獨逸に對して一切物資の供給を完全に絶つの目的を以て、現に米國と協同して戰爭に從事しつゝある各國の政府と共に、中立國に對する世界的輸出禁止の問題を積極的に熟議しつゝありましたが、愈々意を決して米國の製產物が決して獨逸に輸入せられずとの絶對的滿足を得るまでは、中立國に對する物資の輸出を許可せざるべしと。ワシントン電報で報ぜられて來ました。

◎遠征艦隊の大成功　歐洲某方面に於て、日本艦隊は敵の潛水艇を喰ひ止めつゝ、魚雷を蒙つた一大運送船を保護して大成功をしたとロイテル電が報じて居ります。

◎白耳義側の厚意　日白有志發起にて、十一月廿六日帝劇にて慈善演藝會開催の計畫中の處、白耳義側にては、自國に對する日人の同情厚きに報ゆる爲に、右演藝會の金員の半を今回の水害罹災者に、半を獨乙暴虐の犧牲者に贈るべく、決議されたさうであります。

◎各婦人團隊の活動　今回の風水害の被害慘狀を極め、公私の救助を必要とする際に當り、東京所在の各婦人會は陣容を整へて活動を開始されました。まづ婦人花の日會は、市府を經て、罹災者へ千五百圓を贈り、猶慰問袋を募集中。將校婦人會は寄附金募集中。篤志看護婦會鍋島會長以下役員會を開き、金五百圓を寄贈の事に、神田婦人會も救護の事に就いて相談會を開き追つて方法を發表する筈。東佛敎婦人會も目下相談中。基督敎女子青年會にては罹災者の家族中哀れな孤兒となれるものを十人を限り收容する由。また婦人矯風會にては、全國支部を通じて古着を蒐め、寒空に向つて之れを罹災者一同に頒つ由。

◎慘害地の急設家屋　家を失ひ財を失つた人の爲に、先づ雨露を凌ぐ家の必要を第一として、東京府では砂村、葛西、羽田の三ヶ所に急造の小屋を建てることゝなりました。バラック式で一坪に三人平均に住はれるやうに、かつ罹災後の惡病の流行を恐れて床を高くした衞生的のものが出來るさうであります。

◎日用品の暴騰　牛一斤（ヒレ一圓ロース九十錢、上七十錢、中六十錢、並五十錢）豚一斤（上五十六錢、中五十錢、並四十錢）鷄百目（上一圓、中八十錢、下六十錢）卵一貫目四圓から四圓五十錢。酒一合（上十五錢、中十錢、並八錢）醬油一合（極上六錢、上五錢、並三錢）鹽（一錢に二十五匁）以上は水害後俄に暴騰した價格で暫くはこの高値が持續することゝ思はれるのであります。猶薩摩芋廿六錢、蓮根一把一圓、疊表一枚二圓、新疊一枚十圓、下駄雨傘等五割位高くなりました。

◎小紙幣の發行　政府は本年中に拾錢廿錢五拾錢三種の小紙幣を約二千萬圓發行して、小錢の拂底を調節するさうであります。

◎二外國婦人に授章　横濱市共立女學校總理米國人ジエー、エヌ、クロスビー孃（八四）と、同所サンモール學院長佛國人エリザベット、ヌリー孃（六二）の二女史は永年本邦女子教育並に慈善事業に盡瘁し、其の効績顯著なるの故を以て、今回賞勳局から藍綬章を下賜せられました。

◎我が石橋畫伯の名譽　今回石橋和訓畫伯は倫敦の王室油繪協會員に推薦されました。これは日本人として前例なき名譽であります。

◎幸田女史の新音樂敎室　延子女史は麹町紀尾井町へ兼ねて新築中の音樂敎室が落成し、去る七日に落成式を兼ねて音樂會をお開きになりました。

◎お松茶屋の主人公　かねて來遊の噂のあつたフランク、パーカー氏夫人、デーセー・パーカー女史は夫君と共に今回來朝せられました。女史は米國ミネソタ州デリユース市のポイント公園に日本風の別莊を建てゝお松茶屋と名づけ、丸髷姿にて日本のお茶を飮むといふ程の日本好みの方です。來遊の目的は日本の文學を英譯して[illegible]に日本を紹介したいのだと語られました。多分來年七八月頃迄滯在の豫定であるとの事です。

◎婦人記者倶樂部　五日例會を赤坂新町四三婦人矯風會內に開く。服部桂子（萬朝）守屋東子（婦人新報）小橋三四子（婦人週報）吉田淸子（國民）大澤豐子（時事）柴田淑子（東京夕刊）五明しづ子（日々）等順次來會し、午餐を共にして歡を盡す。なほ暴風雨慘害の跡の稍落付くを待つて、秋期の遠足を箱根に試みんことを約して散會。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜木曜を除くの外午後一時より午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋の化粧料

血色を好くし
色を白くする
肌アレを防ぐ

ホーカー液

を朝夕一二滴づゝ日課的にお塗け下さい

今までの白粉とは白さの異ふ
煉製 ホーカー白粉 一瓶廿五銭
最も進歩せる白粉中の白粉として御婦人界に好評嘖々

定價
小瓶 二十銭
中瓶 四十銭
大瓶 八十銭
送料 内地無料 満鮮廿銭

品切の節は直接本舗へ振替又は三銭切手代用にて御注文下さい

本舗 東京神田區和泉橋
堀越嘉太郎商店
振替東京一五六

シンガー裁縫院

●和洋服刺繍（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修
生徒募集
●毎月五日迄入學

齒科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地
齒科醫學士 大久保透

弊店の特色

御召 織式 縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二一番
東洋内科醫院
院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 **甲斐産商店**
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門
（入院隨時）
大野醫院
院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 三三五七
東京至誠病院

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語専門私立 **櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

家庭衞生講習會

一、目的 家庭に必要なる衞生及衞生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

産科、婦人科、小兒科
女醫 **井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京 二二三一番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

絹物のお洗濯にも
木綿物のお洗濯にも
最も効果があつて、
安全なのは、

ライオン洗石鹸で

御座います。

ライオン洗石鹸は品質が最も優れてゐますから、絹物をお洗ひになりましても、決して布地をいためるやうなことなく、又色摸様の大事なお召物をお洗ひになりましても決して色の褪せるやうなことはありません。尚麻織物、毛織物類のお洗濯にも至極適してをります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA